SDGs達成に向けた取組みチェックリス **更新**　事業者名：株式会社　藤永組

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・社是、安全方針、品質方針、環境方針を明文化し、社内に掲示するとともに社員にも配布、携帯させている。また、社是等を唱和するようにしている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・会社の経営方針書に明記し、全社員に配布し周知徹底している。 ・また、定款、就業規則、業務仕様書等に沿った業務遂行の啓発、周知を図っている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、全社員に向け顧客との意思疎通を密にし双方で納得、合意の上、業務遂行するよう周知し徹底している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・業務遂行に当たって騒音、埃等の負の影響もあるが、現場責任者に近隣への挨拶など意思疎通に努め、クレーム等についての処理マニュアルを作成し、社長まで報告する体制を整えている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・図面や施工方法、ノウハウなどが外部に流出しないよう日頃から管理を徹底するようにしている。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報の流出などがないよう総務部で一元管理している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・普段からステークホルダーの声を大切にするため双方向のコミュニケーションに取り組んでいる。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・過去に廃棄物を委託した業者が不法投棄を行ったため、排出者責任を問われたことがあった。そのため取引先の活動には常に関心を持ちコミュニケーションに取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・年に1回避難訓練を実施している。 ・令和4年2月にBCPを策定し九州経済産業局から認定された。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・普段の業務を通じて後継者の指導・育成に取り組んでいる。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進、福利厚生などあらゆる雇用条件等において差別しない体制、運営を徹底している。 ・差別やハラスメントの禁止について就業規則に定めている。 ・また、差別等について総務部を相談窓口としている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・現場朝礼で労働安全の徹底を周知すると共に、現場パトロールを徹底している。 ・労働安全衛生管理者を配置している。 ・月1回は、現場作業員全員に安全教育の研修を行っている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従来から同一労働同一賃金の原則で対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・早期退社を促すなど残業の削減や、社員のライフワークに合った有給休暇の取得等の奨励を行うなどワークライフバランスに配慮している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・倫理法人会に所属し、日頃から経営者モーニングセミナーへの出席や「職場の教養」などを活用し、能力開発と人材育成に取り組んでいる。建設技術センターなど外部研修の受講、資格取得の奨励を行っている。特定の資格取得の場合は報奨金や資格手当の支給を行っている。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・年1回の健康診断を義務付け、再検査が必要な者に対しては産業医によるチェックでフォローしている。 ・また、毎日の朝礼で事故防止や健康増進を周知し、社員間による相互チェック確認にも取り組んでいる。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に人種、性別等による差別的な待遇は行っていない。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●				3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・ICT施工技術を積極的に活用している。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・令和3年7月に認定申請を行い認定された。			3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリス **更新**　事業者名：株式会社　藤永組

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ISO14001を取得している。 ・廃棄物等は専門機関に委託し適切に処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
環境	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電気、ガソリンなどのエネルギー使用量は毎月把握し、節電をはじめ省エネにも取り組んでいる。 ・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出している。 ・完全週休2日制を導入したことで、本社の電気使用量及び社用車の使用頻度が減少している。また、昼の休憩時間中の社内の電気はすべて消すことで節電に努め、さらに昨年古いエアコン4台を新しく省エネタイプへ変更している。							7.3						13				
環境	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・重機は低燃費型を活用するなどCO2排出の抑制に取り組んでいる。 ・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
環境	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・社屋周囲に植栽帯を設け緑化に取り組んでいる。また、仕事現場では花植栽等を行っている。						6.6								14	15		
環境	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・再生用紙の利用を推進している。 ・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
環境	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・当社は地下水を使用しており、完全週休2日制を導入したことで、現在の年間総採取量は5．1%減少している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
環境	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・再生用紙の利用を推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
環境	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
環境	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・社屋周囲に植栽帯を設け緑化に取り組んでいる。また、社員が地域の緑化活動に参加している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
環境	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・太陽光パネル（49.5㎾を2基）を設置し供給している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
環境	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
環境	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・熊本県法面保護協会の社会貢献活動として年1～2回行われる植林した森の下草刈り作業に会員として参加し作業している。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
環境	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
環境	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
環境	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリス **更新**　事業者名：株式会社　藤永組

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・週に1度は、施主、設計事務所、協力会社も参加し、図面通りで顧客の意思に沿った満足のいく品質と安全確保がされているか打ち合わせを行うようにしている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・トイレは和式トイレから全て洋式のウォッシュレットに変更している。また、段差解消や駐車場等は余裕ある幅を確保するなど、誰もが利用しやすい環境整備に取り組んでいる。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・建設資材はできるだけ地元から調達し、木材については、基本的に県産材を優先利用するようにしている。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・石綿（アスベスト）除去（対象住宅が3,000万棟）の勉強会（アスベスト診断士協会）に参画し研鑽を深めるとともに、石綿撲滅協会会長として指導者育成に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・まちづくり協議会の役員、地域体育協会会長に就任し活動している。 ・また、地域の活動にも参加し寄附等を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・1年に1回は防火訓練を実施している。 ・また、会社に防災備蓄、防災グッズを常備し、社員にも防災グッズを配布している。 ・さらにハザードマップを掲示し社員に周知を図っている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGsの普及促進のため、県の登録制度に応募、登録し社員への周知、研修を行うとともに事業への反映を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・毎年、高校生や大学生のインターンシップを積極的に受け入れている。 ・学校等と連携し、出前授業や現場見学会を行っている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の高校生等を積極的に雇用している。 ・現場見学会等を行い地元企業の魅力を伝える活動を行っている。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。